

新年のごあいさつ 令和6年1月1日

新年あけましておめでとうございます。

会員並びにご家族の皆様に謹んで新春のお慶びを申し上げます。

また、日頃より年金者連盟の事業運営に、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新しい年を迎えましたが、世界各地の紛争や戦争は治まることを知らず、経済情勢は不透明感を増しています。

度重なる値上げや物価高騰に私たち年金受給者も厳しい生活を強いられています。

一刻も早く世界が平和を取り戻し、政治的にも経済的にも安心して暮らせる世の中になることを願って止みません。

社会保障制度に目を向けてみれば、年金関係では令和6年は財政検証が予定されております。

年金制度改正に注視し、今後の要望活動を検討していかなければなりません。

医療関係では、新型コロナウイルスも感染症法の位置づけが5類に移行し、コロナ禍以前の日常を取り戻してきてはいますが、保険料・負担割合の引き上げも相まって、医療費の自己負担増など家計への影響が懸念されるところです。

高齢化に対応する介護保険制度の見直しも楽観できるものではありません。

少子化対策についても、日本社会は未だに少子化の流れを変えるに至っていません。

このような状況から、これからも能力に応じて全世代が支え合う社会保障制度の構築が進められていくものと考えられます。

今まさに年金受給者が心をひとつにし、組織強化を図り、私たちの切実な声を大きくし、政府関係機関や社会に訴えかけていくことが重要です。

世の中に暗い話題や心を痛める話題が多い中、日本のスポーツ界では、様々な競技において、最後まであきらめず困難に立ち向う選手・スタッフの姿が、私たちに勇気と感動を与えてくれました。

当連盟も厳しい環境に挫けることなく、会員のみならず年金生活者の福祉の向上と生活の安定のために様々な取り組みを進めてまいりたいと考えております。

会員の皆様方におかれましても支部に集い、引き続き年金者連盟加入促進にご協力いただきますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、会員とご家族の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ年頭のあいさつといたします。

千葉県市町村職員年金者連盟
会長 稲生哲彌